学校番号	3025

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	(学) 総合芸術 (美術)	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	自主教材						
副教材等	自主教材						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・中学以来美術に接していなかった生徒と、１年生時選択をして制作をしてきた生徒が混在するため基本的なことを復習しながら新しいことにチャレンジしていきたいと思います。
・描写や立体、工芸的なものなど様々なジャンルの作品を制作し、美術に対する関心を高め専門的な知識を深めていきます。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
アクリル絵の具や墨、鉛筆など様々な画材や教材に触れて実体験を繰り返し、より専門性のある高い技術を会得する。
【思考力、判断力、表現力等】
独自の世界を創造し表現する能力を自分のものにする。
【学びに向かう力、人間性等】
美術に興味を持ち、試行錯誤を繰り返してより良い作品を作り出す能力を伸ばす。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	基本的な水彩絵の具、鉛筆などの使い方をマスターできている。 様々な材料を使いこなすことができ、独自な発想で新しい技術を発見している。	課題をもとに、より自由に自己表現をしている。	試行錯誤を繰り返しより高いものを目指す意欲がある。 自己表現のためにチャレンジを続ける態度がある。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	自画像	「即興(墨)自画像」 墨で描いた自画像をもに黒画用紙を使用し、切り絵の制作 切り絵にはる自作の色紙をいろいろなテクニックで制作(にじみたらしこみ、スパッタリングなど)	a:切り絵にするための輪郭線が的確にとれているか。色紙作りのテクニックが多様であるか。 b:構図よく画面がまとまっているか。自由な発想で描けているか。 c:試行錯誤してよいものをめざしているか。	制作技術の熟練度	個性的なアイデア	意欲を持った制作態度
	鉛筆デッサン	「体育館シューズの鉛筆ﾃﾞｯｻﾝ」 側面、正面、背面から体育館シューズを描く。	a:鉛筆の色、濃度が豊かに表現できている。対象の立体感がよく感じられる。 b:構図よく適度な大きさで正確にモチーフの形が描けている。 c:形や立体感を納得がいくまで妥協せず修正している。	制作技術の熟練度	個性的な構図	意欲を持った制作態度
2学期	立体作品	「本物そっくりに作る　体育館シューズ」 ティッシュペーパー、ケント紙を材料にして体育館シューズを作り水彩絵の具で彩色する。	a:くつの形をリアルに再現するためケント紙の展開図に工夫がある。形のリアルさを追求して細部に気を使って製作している。 b:本物のような色を出すために混色や重ね塗りを繰り返し努力をしている。 c:試行錯誤をくりかえしより良いものを制作しようとしている。	制作技術の熟練度	個性的なテクニックとアイデア	意欲を持った制作態度
2学期後半～3学期	静物画	複数準備されたモチーフを自由に組み合わせてF6 サイズのアクリル画を描く。 盛り上げ絵の具を用いて、油絵の具のような画面に仕上げる。	a:モチーフの形を正確に描写している。画材の使い方が的確である。 b:構図よく画面をまとめている。盛り上げ絵の具の使い方や彩色の方法で独自の発見をしている。 c:試行錯誤を繰り返し妥協せずに制作している	正確なデッサン。制作技術の熟練度	個性的な表現方法	意欲を持った制作態度

3学期	石膏デッサン	美術室内の石膏像から好みのものを選んで木炭でﾃﾞｯｻﾝをする。	a:木炭の使い方になじんでいる b:画面をいっぱいに使って構図よくモチーフを描けている。 c:試行錯誤を繰り返し、努力をしている。	制作技術の熟練度	バランスよくのびのびとした構図	意欲を持った制作態度

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度